

データ分析 ④ 負債回転期間

■ 負債回転期間のデータ分析

負債回転期間は、(流動負債+固定負債)÷((完成工事高+兼業事業売上高)÷12)で算出し、有利子負債(長短期借入金等)、支払手形、工事未払金等の負債総額が月商の何倍に相当するのを見ます。当然、負債が低いほど企業に負担が少なくなりますから、この指標は小さいほど良い数値ということになります。

○ 都道府県別の平均値

経審のデータで都道府県別に平均値を比較するとベスト3が、奈良県 4.14、沖縄県 4.33、佐賀県 5.25であり、ワースト3が、愛媛県 7.89、徳島県 7.82、静岡県 7.69となっています。

上位には4位から和歌山、熊本、北海道、福岡、京都と地域が分散しています。下位は4位から広島、群馬、山口、山梨、福島と上位同様に地域が分散しています。

○ 指標の構成

指標の構成で0.9~3.0の企業が29.0%と約全体の中の1/3を占めています(うち上限値の0.9の企業が8.0%)。また、3.0~5.0の企業が20.0%を構成しています。つまり、0.9~5.0で約半数の49.0%を構成しています。

下位の構成は、負債合計が売上を超える12.0~18.0の企業が15.3%あります。負債が大きく経営を圧迫していると考えられるところです。0.6~12.0の企業が27.3%あり、これらの企業も負債の負担は大きいものと思われます。

○ 指標の目標

目標をいくつに設定すれば良いかというデータの中央値が5.1となっています。ここでもう一步レベルを上げて4.0に設定すると全企業の上位39.4%の中に入ることができます。まずは、4.0以内を目指しましょう。更に、3.0であれば全体の上位29.0%となり、良好な状態となります。

■ 指標のまとめ

- ① 平均値：6.50
- ② 中央値：5.10 (集計したデータのちょうど真ん中の値)
- ③ 県別平均値 ベスト3：奈良県 4.14、沖縄県 4.33、佐賀県 5.25
県別平均値 ワースト3：愛媛県 7.89、徳島県 7.82、静岡県 7.69
- ④ 上限値：0.9、下限値：18.0
- ⑤ 目標値：4.0 (もう1ランク上の目標：3.0)
- ⑥ 特徴：企業数の29.0%は負債回転期間が3.0以内
企業数の15.3%は負債合計が売上高を上回っている

※ このデータは、HPに公表されている経審結果の平成22年1月から12月の1年間のデータ約14万9千社の数値から求めたものです。

■ 経審博士11、経審博士11+Formは好評発売中

経審博士11は、7月1日の経審改正に伴い経審博士10のバージョンアップ版です。今回改正は、その他の審査項目(社会性等)の一部改正ですので、雇用保険、健康保険、厚生年金保険に加入している企業は経審博士10と経審評点は変わりありません。

しかし、経審博士11はこの改正のみでなく、技術職員名簿の出力の他に、「技術職員名簿(詳細)」を追加し、各資格名称も明記されたものを出力できます。

また、8月中に「経審博士メンバーズ」サイトを開設し、常に最新のソフト、マニュアルをダウンロードすることができます。

■ 「経審博士メンバーズ」新しいサービスに関して

新サービスとして「経審博士メンバーズ」を開設します。メンバーズの会員には、経審博士10(+Formを含む)、経審博士11(+Formを含む)をお持ちの方でeメール登録を行いつている方。また、経審博士ニュースでeメール登録を行いつている方となります。

当サービスは、経審博士11シリーズの最新のソフト・マニュアルをいつでもダウンロードすることができます。ソフト購入者には、ライセンス登録やダウンロードする担当者の名称変更、eメールアドレス変更なども行えます。

新たに、経審による企業分析支援システム機能(別途費用)も掲載しています。詳細は、メールもしくはFAXにて後ほど案内いたします。